

## 研究課題名 健康診断受診者における眼底検査からの小乳頭と緑内障の割合

本研究は、公益財団法人ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て理事長が許可をした研究です。

緑内障は成人失明率の第1位です。2000年から2001年に行われた緑内障に関する疫学調査“多治見スタディ”によると40歳以上の有病率は5.0%でその90%の患者が治療を行っていないことが報告されています。緑内障は症状がでてなかなか気づきにくく、そのため受診が遅れ、病状が進んでいることが少なくありません。普段診療を行っている中で、小乳頭方は緑内障が進んでいるのが見うけられます。今回2018年4月より9月までに当財団のドック健診を受診された方の眼底写真を用いて、視神経乳頭の大きさを計測し、小乳頭の割合を出し、小乳頭の割合を調べることによって、眼底検査の判定に役立て、緑内障の早期発見に努めたいと考えます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究は画像データを利用する研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆さまの個人情報を削除し、個人がまったくわからない状態でデータの分析を行います。
3. 研究成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人を特定できる情報を公表することはありません
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は本研究に関する利益相反はありません。

## 研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター

副センター長 角南 祐子